



Count on it.

Form No. 3457-395 Rev E

オペレーターズマニュアル

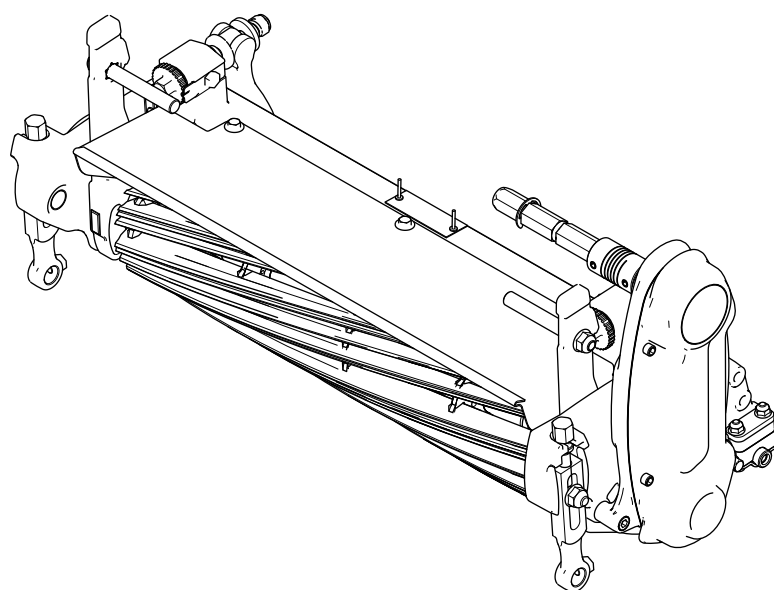
18"および21"11ブレードおよび14 ブレードEdgeSeries™ カutting ユニット

**Greensmaster® Flex™ 1018 および 1021 トラク
ションユニット**

モデル番号 04854—シリアル番号 410300000 以上

モデル番号 04863—シリアル番号 410285710 以上

モデル番号 04864—シリアル番号 410300000 以上



この製品は関連するすべての欧州指令に適合しています。詳細についてはこの冊子の巻末にあるDOI適合宣誓書をご覧ください。

この説明書では、危険についての注意を促すための警告記号 図 2 を使用しております。これらは死亡事故を含む重大な人身事故を防止するための注意ですから、必ずお守りください。

はじめに

このカッティングユニットは、商業用途においてプロのオペレータが運転操作することを前提として製造されています。主にゴルフ場、公園、運動場、商業施設などのよく手入れされた芝生の芝を維持するために設計されています。この機械は本来の目的から外れた使用をすると運転者本人や周囲の人間に危険を及ぼす場合があります。

この説明書を読んで製品の運転方法や整備方法を十分に理解し、怪我や製品の損傷を避けるようにしてください。この製品を適切かつ安全に使用するのはお客様の責任です。

製品の安全や取り扱い講習、アクセサリなどに関する情報、代理店についての情報の入手、お買い上げ製品の登録などをネットで行っていただくことができます www.Toro.com

整備について、また純正部品についてなど、分からないことはお気軽に弊社代理店またはカスタマーサービスにおたずねください。お問い合わせの際には、必ず製品のモデル番号とシリアル番号をお知らせください。 図 1 に製品のモデル番号とシリアル番号の位置を示します。いまのうちに番号をメモしておきましょう。

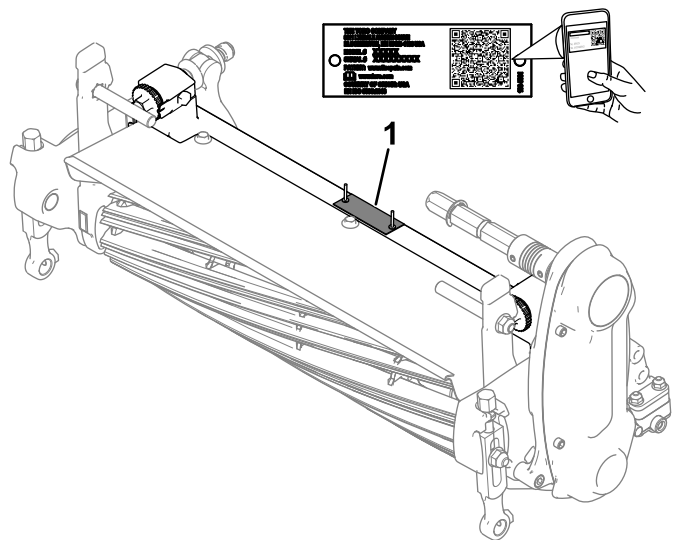


図 1

1. 銘板取り付け位置



図 2

危険警告記号

g000502

この他に2つの言葉で注意を促しています。**重要**は製品の構造などについての注意点を、**注**はその他の注意点を表しています。

目次

安全について	3
安全に関する一般的な注意	3
カッティングユニットの安全確保	3
刃物を取扱う上での安全確保	3
安全ラベルと指示ラベル	3
組み立て	4
1 前ローラを取り付ける	4
2 トラクションユニットにカッティングユニットを 取り付ける	4
3 カッティングユニットを調整する	4
製品の概要	5
仕様	5
アタッチメントとアクセサリ	5
運転操作	6
カッティングユニットを調整する	6
刈り高の調整	8
刈り高さと下刃の選択表	10
保守	11
カッティングユニットへのアクセス	11
リール駆動シャフトのグリスポイントを点検す る	11
リール駆動ベルトの張力調整	12
クリップレートの調整方法	12
ベッドナイフの仕様	13
リール仕様	16
カッティングユニットのバックラップ	17

安全について

安全に関する一般的な注意

この製品は手足を切断する能力がある。重大な人身事故を防ぐため、すべての注意事項を厳守してください。

- 本機をご使用になる前に必ずこのオペレーターズマニュアルをお読みになり、内容をよく理解してください。
- この機械を運転する時は常に十分な注意を払ってください。運転中は運転操作に集中してください。注意散漫は怪我や物的損害を発生させる可能性があります。
- 機械の可動部の近くには絶対に手足を近づけないでください。
- ガードなどの安全保護機器が正しく機能していない時は、運転しないでください。
- 排出口の近くに、手足などを近づけないでください。
- 作業場所に、無用の大人、子供、ペットなどを近づけないでください。子供に運転させないでください。
- 運転席を離れる前に
 - 平らな場所に駐車する。
 - カuttingユニットを下降させる。
 - 駆動系を解除する。
 - 駐車ブレーキを掛ける装備車の場合。
 - エンジンを止め、キーを抜き取ってください。
 - 全ての動きが停止するのを待つ。

間違った使い方や整備不良は人身事故などの原因となります。事故を防止するため、以下に示す安全上の注意や安全注意標識▲のついている遵守事項は必ずお守りください。「注意」、「警告」、および「危険」の記号は、人身の安全に関わる注意事項を示しています。これらの注意を怠ると死亡事故などの重大な人身事故が発生する恐れがあります。

安全ラベルと指示ラベル



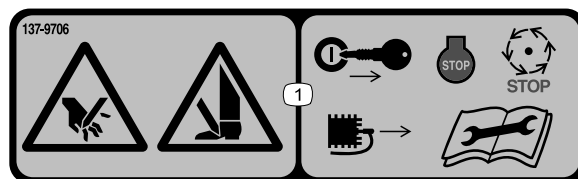
以下のラベルや指示は危険な個所の見やすい部分に貼付してあります。破損したりはがれたりした場合は新しいラベルを貼付してください。



120-9570

decal120-9570

1. 警告 可動部に近づかないこと 全部のガード類を正しく取り付けて運転すること。



137-9706

decal137-9706

1. 手足を切断する危険整備作業を行う前に、エンジンを停止し、キーを抜き取るか点火プラグコードを外すか、可動部が停止するのを待つこと。オペレーターズマニュアルを読むこと。

カuttingユニットの安全確保

- トラクションユニットに取り付けたカuttingユニットは、機械の一部となります。ですから、トラクションユニットのオペレーターズマニュアルもお読みになって、機械全体を安全に取り扱う方法を良く学んでください。
- 異物をはね飛ばしたときや機体に異常な振動を感じたときにはまずマシンを停止し、キー付きのマシンではキーを抜き取り、各部の動きが止まってからよく点検してください。異常を発見したら、作業を再開する前にすべて修理してください。
- 各部品が良好な状態にあり、ボルトナット類が十分にしまっているか常に点検してください。破損したステッカーは安全のため早期に交換してください。
- アクセサリ、アタッチメント、交換部品は、必ずトロの純正品をお使いください。

刃物を取扱う上での安全確保

磨耗の進んだブレードや破損したブレードは、回転中にちぎれて飛び出す場合があります。これが起こるとオペレータや周囲の人間に多大の危険を及ぼし、最悪の場合には死亡事故となる。

- ブレードが磨耗や破損していないか定期的に点検すること。
- ブレードの点検を行うときには安全に十分注意してください。ブレードをウェスでくるむか、安全手袋をはめてください。ブレードは研磨または交換のみ行い、たたいて修復したり溶接したりしないでください。
- 複数のブレードを持つ機械では、つのブレードを回転させると他も回転する場合があるので十分に注意してください。

組み立て

1

前ローラを取り付ける

必要なパーツはありません。

手順

カッティングユニットの前ローラは取り付けられていません。弊社正規代理店からローラを購入し、以下の要領でカッティングユニットに取り付けてください

1. X刈高アーム左右のどちらか1本をカッティングユニットのサイドプレート固定しているプラウボルト、ワッシャ、フランジナットを外す 図 3。

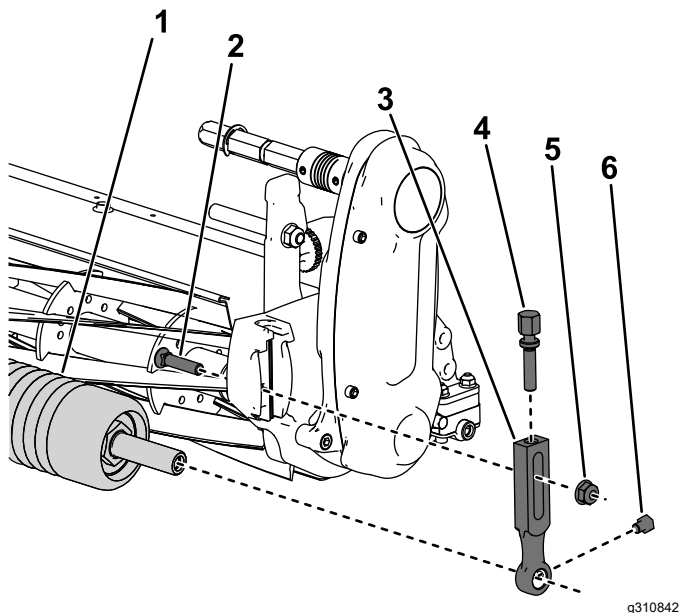


図 3

- | | |
|-----------|--------------|
| 1. ローラ | 4. 調整ねじ |
| 2. プラウボルト | 5. フランジナット |
| 3. X刈高アーム | 6. ローラ取り付けねじ |

2. X刈高アームについているローラ取り付けねじをゆるめる。
3. カッティングユニットの反対側で、X刈高アームにローラシャフトをはめ込む。
4. X刈高アームをローラシャフトにはめ込む。
5. 先ほど外したX刈高アームとボルト・ナットを使って、ローラをカッティングユニットに仮止めする。
6. ローラが左右のX刈高アームの中央にくるように調整する。
7. 調整ができればローラ取り付けねじを締め付ける。

8. X刈高の調整を行い、X刈高アーム固定ナットを締め付ける。

2

トラクションユニットにカッティングユニットを取り付ける

必要なパーツはありません。

手順

カッティングユニットをトラクションユニットに取り付ける取り付け要領についてはトラクションユニットのオペレーターズマニュアルを参照。

3

カッティングユニットを調整する

必要なパーツはありません。

手順

1. カッティングユニットへのアクセス [カッティングユニットへのアクセス \(ページ 11\)](#)を参照。
2. リールと下刃の調整を行う [リールと下刃の調整を行う \(ページ 7\)](#)を参照。
3. X刈高を調整する [X刈高の調整 \(ページ 8\)](#)を参照。

製品の概要

仕様

搭載可能なトラクションユニット	このマニュアルのカッティングユニットは、対応するサイズのグリーンズマスター Flex or eFlex 1018 または 1021 トラクションユニットに搭載することができる。		
刈り幅	モデル番号 04854	モデル No. 04863, 04864	
	46 cm	53 cm	
刈高	バーチカットねじとナットで固定されている前ローラで調整する。		
刈高調整範囲	ベンチ設定時の標準範囲は、1.6 mm-12.7 mm。高刈りキットを装着した場合の設定範囲は、7 mm-25 mm。実効刈高はターフのコンディション、ベッドナイフの種類、ローラの種類、装着しているアタッチメントなどによって変化する。		
リールベアリング	ステンレス製シールド深溝ボールベアリング 2個		
前ローラ	前ローラの直径 63 mm 複数種類の構成から選択が可能。		
ベッドナイフ	この機械にはエンジマックス・マイクロカットベッドナイフが標準装備されています。さまざまな構成のベッドナイフがあります。ベッドナイフは、フライス仕上げの鋳鉄製ベッドバーにねじ 13 本で固定している。		
ベッドナイフの調整	ユニット左右にあるねじを 1 ノッチずつ回転させることにより、下刃を、0.018 mm ずつ上または下に移動させて調整する。		
グラスシールド	ターフがぬれている時に、リールから刈りかすを排出されやすくします。		
カウンタウェイト	カッティングユニットのバランス調整のため、駆動ラインの向かい側に鋳鉄製のウェイトを搭載する。		
純重量	モデル番号 04854	モデル番号 04863	モデル番号 04864
	35 kg (77 lb)	35 kg (77 lb)	36 kg (80 lb)
クリップレート	トラクションユニットのオペレーターズマニュアルを参照。		

アタッチメントとアクセサリ

トロが認定した各種のアタッチメントやアクセサリがそろっており、マシンの機能をさらに広げることができます。詳細は弊社の正規サービスディーラ、または代理店へお問い合わせください弊社のウェブサイト www.Toro.com でもすべての認定アタッチメントとアクセサリをご覧になることができます。

いつも最高の性能と安全性を維持するために、必ずToroの純正部品をご使用ください。他社の部品やアクセサリを御使用になると危険な場合があります、製品保証を受けられなくなる場合がありますのでおやめください。

運転操作

運転の詳細は、トラクションユニットのオペレーターズマニュアルを参照してください。カッティングユニットは、毎日、使用前に調整をしてください **毎日のベッドナイフ調整 (ページ 6)** を参照してください。グリーンを刈り込む時は、試験刈りを行って、カッティングユニットが希望通りの刈り上がりに調整されていることを確認してから使ってください。

カッティングユニットを調整する

カットオーバーを調整する

刈りかすがリールからスムーズに出るように調整します

注 この調整はターフの状態変化に合わせて行ってください。芝面が非常に乾いている時にはバーをリールに近づけます。逆に、芝がぬれている時にはバーとリールの隙間を大きくします。バーとリールが平行になっていることが重要です。研磨機でリールを研磨した時には、必ずこのバーの調整を行ってください。

1. バー **図 4** をカッティングユニットに固定しているねじをゆるめる。

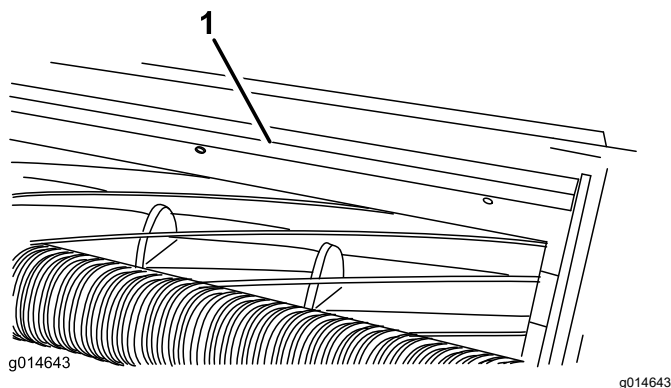


図 4

1. カットオーバー

2. 隙間ゲージを使って、リール上面とバーの間を 1.5 mm に調整し、ねじを締めてバーを固定する。

重要 リールの全幅にわたって隙間の幅が一定となるように注意する。

リールと下刃の調整を行う

毎日のベッドナイフ調整

毎日または必要に応じて、刈り込み前に、下刃とリールの刃合わせ状態を点検してください。この点検は、前日の調子に係わりなく毎回行ってください。

注 この点検は、カッティングユニットをトラクションユニットに取り付けた状態で行えます。

1. トラクションユニットのエンジンを停止する。
2. カッティングユニットへのアクセス **カッティングユニットへのアクセス (ページ 11)** を参照。
3. 手でリールをゆっくりと後ろ向きに回転させ、リールとベッドナイフの接触状態を耳で確認する。

- 接触がまったくない場合には、以下の手順で調整する

- A. ベッドバー調節ねじ **図 5** を 1 クリックずつ均等に締めながら、ごく軽い接触が得られるようにする。

注 調整ねじを 1 ノッチ回転させることにより、ベッドナイフが、0.018mm 移動します。

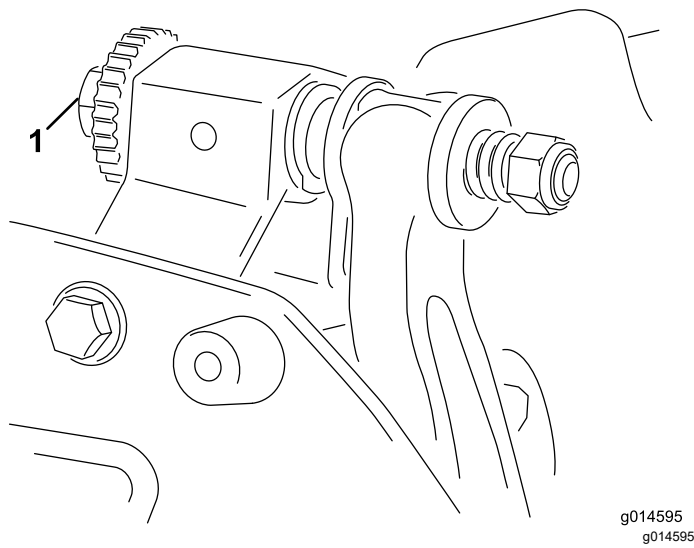


図 5

1. ベッドバー調整ねじ

- B. 刃合わせチェックペーパー Toro P/N 125-5610 を、リールとベッドナイフとの間にに入れてベッドナイフに対して直角にセットし **図 6**、リールを **ゆっくりと** 前転させる紙が切れれば適切。切れなければステップ **A** と **B** を繰り返す。

- 接触を強くしないと切れない場合には、鋭利な刃先を取り戻して精密なカットができるようにバックラップ、ベッドナイフのフェーシング、または研磨を行うことが必要 Toro リール/ロータリー・モアのための研磨マニュアル, Form No. 09168SL を参照。

重要 どんな場合でもごく軽い接触がベストです。軽い接触が維持されないと、リールとベッドナイフの相互研磨作用が全くなくなるので、切れ味の落ちるのが早くなります。逆に、接触が強すぎると、相互の摩耗が早く進み、摩耗ムラが出て刈り上がりに悪影響が出やすくなります。

注 eFlex では、カッティングユニットの刃合わせ調整が電力消費に大きな影響を与えます。刈り込

みの品質、およびバッテリーの使用時間のいずれについても、ごく軽い刃合わせがベストです。

注 ベッドナイフとリール刃は継続的に接触しているので、使用期間が長くなるとベッドナイフの全長にわたり、刃先部分に小さなバリが出来てきます。時々ヤスリでこのバリを取り除いてやると切れ味が向上します。

ベッドナイフは、長期間使用しているうちにリールに削られ、リールの端部と接触する縁の部分が角張ってきます。この角張った部分は、ヤスリなどを使って丸めるか、下刃の刃先と面一にするかしてください。

リールと下刃の調整を行う

以下の作業は、初回組立、研磨、バックラップ、分解組立などの際に行うものです。毎日行う作業ではありません。

注 この点検は、カッティングユニットをトラクションユニットに取り付けた状態で行えます。

注 eFlex では、カッティングユニットの刃合わせ調整が電力消費に大きな影響を与えます。刈り込みの品質、およびバッテリーの使用時間のいずれについても、ごく軽い刃合わせがベストです。

1. トラクションユニットのエンジンを停止する。
2. カッティングユニットへのアクセス [カッティングユニットへのアクセス \(ページ 11\)](#) を参照。
3. カッティングユニットの右端から数えて1番目と2番目の下刃ねじの間で1枚のリール刃と下刃とが交差するようにセットする。
4. 下刃と交差しているリール刃の交差部にマジックなどで印をつける。

注 これにより、後の調整が容易になります。

5. 手順4でマークしたポイントで、ブレードと下刃の間に0.05 mmのシム (Toro部品番号 140-5531) を挿入する。
6. シムを左右に滑らせながら右側のベッドバー調整ねじ [図 5](#) を回して、シムに 軽い 圧迫シムが挟まれる感じを感じる程度に調整する。シムを抜き取る。
7. カッティングユニットの左端で、ベッドナイフに一番近いリール刃を、左端から数えて1番目と2番目の下刃ねじの間で下刃と交差させる。
8. カッティングユニットの左側で、左側ベッドバー調整ねじを使って上記4-6の作業を行う。
9. ステップ 5 と 6 を繰り返して、カッティングユニットの左右両側で軽くはさまれる感じに調整する。
10. この状態から、ベッドバー調整ねじを右に3クリック回転させると、下刃とリール刃とが軽く接触するようになる。

注 1回のクリックで、下刃が 0.018mm 移動します。調整ねじを締めすぎないように注意してください。

ベッドバー調整ねじを右に回すと、ベッドナイフがリールに近づきます。ベッドバー調整ねじを左に回すと、ベッドナイフがリールから離れます。

11. 刃合わせチェックペーパーToro P/N 125-5610を、リールとベッドナイフとの間に入れてベッドナイフに対して直角にセットし [図 6](#)、リールを ゆっくり と前転させる紙が切れれば適切。左右のベッドバー調整ねじをそれぞれ1クリックだけ締め、もういちど紙を切るテストを行う。紙が切れるまでこれを繰り返す。

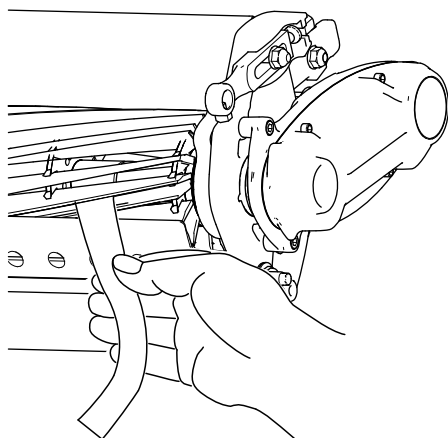


図 6

g310820

注 接触を強くしないと切れない場合には、鋭利な刃先を取り戻して精密なカットができるようにバックラップ、ベッドナイフのフェーシング、または研磨を行うことが必要。Toro リール/ロータリー・モアのための研磨マニュアル Form No. 09168SLを参照。

後ローラの高さを調整する

1. [刈り高さと下刃の選択表 \(ページ 10\)](#) に従って、サイドプレート取り付けフランジ (図 7) の下に必要な枚数のスペーサーを入れて、後部ローラーブラケットを希望の刈り高範囲に調整する。

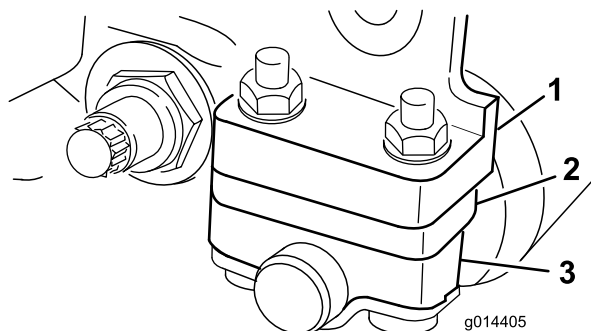


図 7

g014405

g014405

1. サイドプレート取り付けフランジ
2. スペーサー
3. ローラーブラケット

2. カuttingユニットの後部を持ち上げてベッドナイフの下に角材などの枕を置く。
3. 各ローラーブラケットとスペーサーを各サイドプレート取り付けフランジに固定しているナット2個を取り外す。
4. ローラーブラケットとボルトをサイドプレート取り付けフランジとスペーサーの下にする。
5. スペーサーをローラーブラケットのボルトに配置する。

6. ローラーブラケットとスペーサーとを、取り付けフランジの下側に、先ほど取り外したボルトを使って取り付ける。

注 未使用のスペーサーは、後で使えるようにサイドプレート取り付けフランジの上に置く。

注 リールと後ローラとの平行関係は、カuttingユニット全体の組み立て精度により保証されていますから、調整は不要です。

刈り高の調整

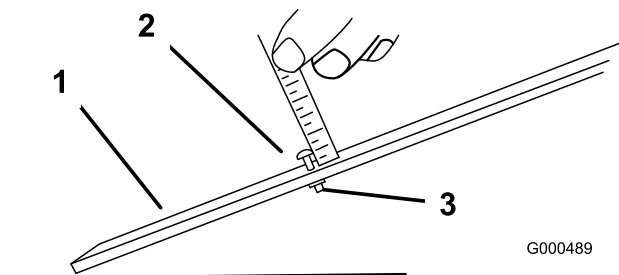
刈り高は刈り高ゲージを使って調整します。希望する刈り高に最も適したベッドナイフが取り付けられていることを確認して調整を行ってください。 [刈り高さと下刃の選択表 \(ページ 10\)](#)を参照。

刈り高ゲージの調整方法

刈り高の調整を行う前に、刈り高ゲージを以下のようにセットします

1. ゲージバーのナットをゆるめ、調整ねじを希望の刈り高に合わせる [図 8](#)。

注 ねじ頭の下からバーの表面までの距離が刈り高となる。



G000489

g000489

図 8

1. ゲージバー
2. 高さ調整ねじ
3. ナット

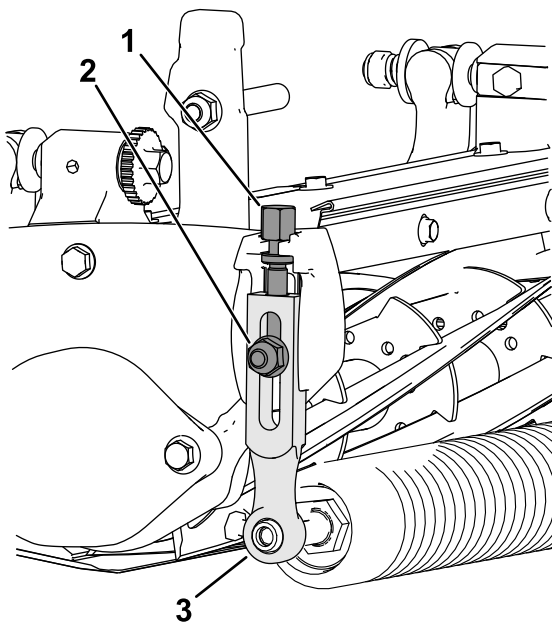
2. ナットを締めつける。

刈り高の調整

このカuttingユニットには、エッジマックス・マイクロカットベッドナイフとスタンダードベッドバーが標準装備されています。実際の刈り高は、これまでの刈り込みに使用していた機器の調整ローラ、下刃の先端からリールの中心線までの距離などやターフ自体のコンディショニングの硬さ、季節条件などによって異なります。まず、これまでの刈り高設定よりも 0.25-0.38 mm 程度高くセットして刈り込みを行い、仕上がり具合を見ながら調整をしてください。

[刈り高さと下刃の選択表 \(ページ 10\)](#)により、希望する刈り高に最も適したベッドナイフを決定してください。

1. 刈り高アームをカuttingユニットのサイドプレートに固定しているロックナットをゆるめる [図 9](#)。

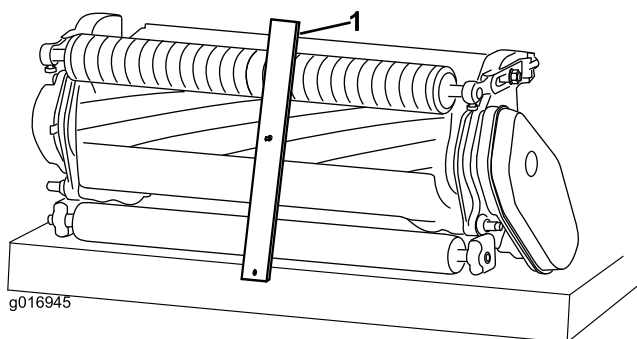


g310831

図 9

1. 調整ねじ
2. フランジロックナット
3. 刈高アーム

2. 刈高ゲージのねじの頭を下刃の右側の先端に引っ掛け、バーの後端を後ローラに当てがう図 10。



g016945

g016945

図 10

1. ゲージバー

3. バーの前端がローラに当たるように、調整ねじで調整する。
4. 左側でも、ステップ2との作業を行う。
5. ローラ全体が下刃と平行になるように、ローラの両側を均等に調節する。

重要 前後のローラにゲージが当たり、ねじの頭がリールにぴったりと掛かっているのが正しい調整状態です。下刃の左右端でこの状態となるように調整してください。

6. 刈高アームのロックナットを、遊びがなくなるまで締め付ける。これで調整が固定される。
7. 刈高が正しいことを確認する必要に応じて微調整を行う。

刈り高さと下刃の選択表

刈り高さ表				
刈り高さmm	刈り高さインチ	リアスペーサー数	ドラムポジション	ユニバーサルグラーマー
1.5	0.062	0	F	Y
3.2	0.125	0	F/R	Y
4.8	0.188	0	F/R	Y
6.4	0.250	0	F/R	Y
6.4	0.250	1	F/R	Y
9.5	0.375	0	F	Y
9.5	0.375	1	R	Y
12.7	0.500	1	R	N
12.7	0.500	2*	R	Y**
15.9	0.625	2*	R	N
15.9	0.625	3*	R	Y**
19.1	0.750	2*	R	N
19.1	0.750	3*	R	N
22.2	0.875	3*	R	N
25.4	1.000	3*	R	N
25.4	1.000	4*	R	N

F: フロントドラムポジション。グリーン用におすすめ。

R: リアドラムポジション。ティーランド用におすすめ。

* リアスペーサー2枚以上にはHigh Height-of-Cutキット品番120-9600が必要です。

** ユニバーサル グラーマーのリアスペーサー2枚以上にはHigh Height-of-Cutキット品番133-9110が必要です。

以下の表により、希望する刈高に最も適したベッドナイフを決定してください。

下刃/刈り高さの選択表				
ベッドナイフ	GR 18"部 品番号	GR 21"部 品番号	刈高	トップ研削 角度
EdgeMaxマイクロカット (標準 04854、04863、04864)	117-1530	115-1880	1.5-4.7 mm	3°
マイクロカットオプション	98-7261	93-4362	1.5-4.7 mm	3°
マイクロカット延長オプション	110-2300	108-4303	1.5-4.7 mm	7°
EdgeMaxマイクロカットショートオプション	139-4318	139-4320	1.5-4.7 mm	3°
エッジマックス・トーナメントオプション	115-1532	115-1881	3.1-12.7 mm	3°
トーナメントオプション	98-7260	93-4263	3.1-12.7 mm	3°
トーナメント延長 (オプション)	—	108-4302	3.1-12.7 mm	7°
EdgeMaxトーナメントショートオプション	139-4319	139-4321	3.1-12.7 mm	3°
ローカットオプション	110-2301	93-4264	4.7-25.4 mm	3°
ハイクットオプション	—	94-6392	7.9-25.4 mm	3°
EdgeMaxフェアウェイ (オプション)	—	137-6092	9.5-25.4 mm	10°
フェアウェイオプション	—	137-6097	9.5-25.4 mm	10°

注 あまり強くないカットには、延長または短いベッドナイフを使います。

保守

注 前後左右は運転位置からみた方向です。

カッティングユニットへのアクセス

保守整備のためにベッドナイフやリールにアクセスするには

- トラクションユニットから外してある場合ベッドバー調整ねじのナットが床面に接触しないように、カッティングユニットの後ろ側をスタンドなどで支えてください 図 11。

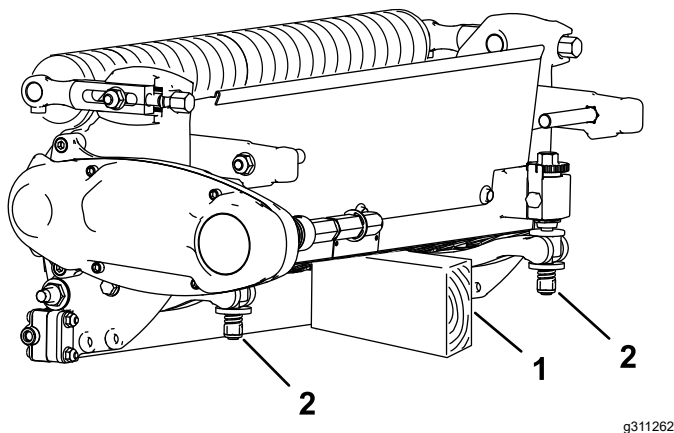


図 11

1. プロップ付属品ではありません
2. ベッドバー調整ねじのナット2個

- トラクションユニットに取り付けたままの場合トラクションユニットのハンドルを床まで下降させる 図 12。

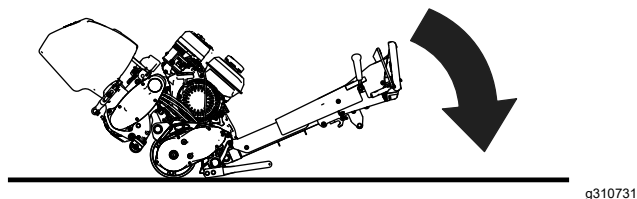


図 12

リール駆動シャフトのグリスポイントを点検する

整備間隔: 1年ごと

1. リール駆動アセンブリをサイドプレートに固定している部品を外す 図 13。

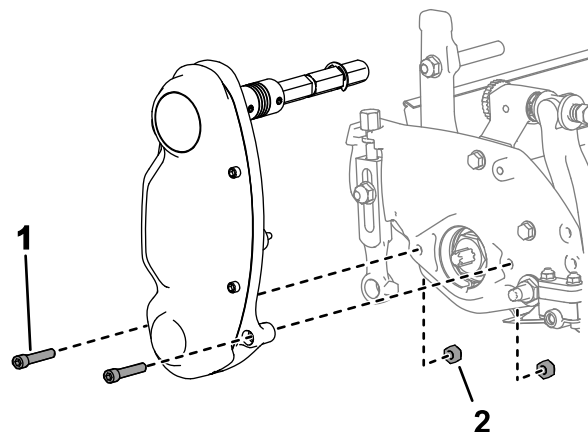


図 13

1. ソケットヘッドねじ
2. ナット

2. サイドプレートの内側からナットを外す 図 13。
3. リール駆動シャフトの内側 図 14 にグリスが残っているかどうか調べる。

グリスの残量が十分でない場合には、スプラインのシャフトオス・メスともに十分にグリスを追加する。

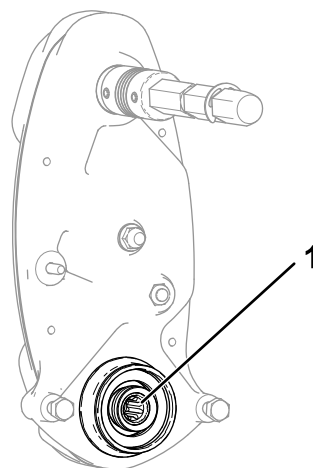


図 14

1. リール駆動シャフト

4. 先ほど外したソケットヘッドねじとナットを使ってリール駆動アセンブリをサイドプレートに元通りに取り付ける。
5. カッティングユニットをトラクションユニットに取り付ける。対応するトラクションユニットのオペレーターズマニュアルを参照。

リール駆動ベルトの張力調整

整備間隔: 1年ごと

1. カバーを固定しているネジ4本を外して、リールドライブハウジングからカバーを取り外す。
2. アイドラーアームボルトを緩め、アイドルアームを回転させてベルトから張力を除去する。
3. ビーム型トルクレンチを使って、上部アイドルアーム内部ネジに67 N·m (0.650.76 kg·m) の力を加える (図 15)。

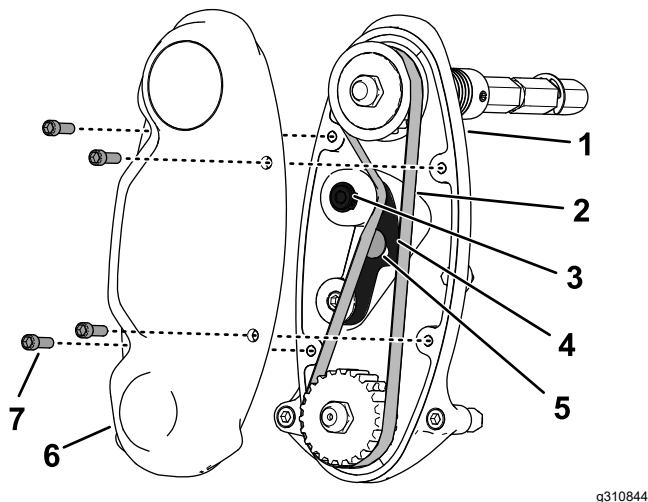


図 15

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1. リール駆動アセンブリハウジング | 5. アイドラーアームボルト |
| 2. ベルト | 6. ベルトカバー |
| 3. アイドラーアームの内側六角部 | 7. ソケットヘッドねじ |
| 4. アイドラーアーム | |

4. アイドラーアームボルトを締めてアイドルアームを固定する。
5. 対応する4本のネジを使ってカバーを取り付ける。

クリップレートの調整方法

クリップレートは以下の設定によって決まります。

- **リール速度** リールの回転速度を高または低に設定することができます。トラクションユニットのオペレーターズマニュアルを参照。
- **リール駆動プーリの位置** リール駆動プーリ922 枚歯と 24 枚歯の取り付け位置を 2 ヶ所から選択することができます。
 - 高速位置: “A” 図 16
 - 低速位置: “B” 図 16

注 出荷時のプーリの設定位置は低位置です。

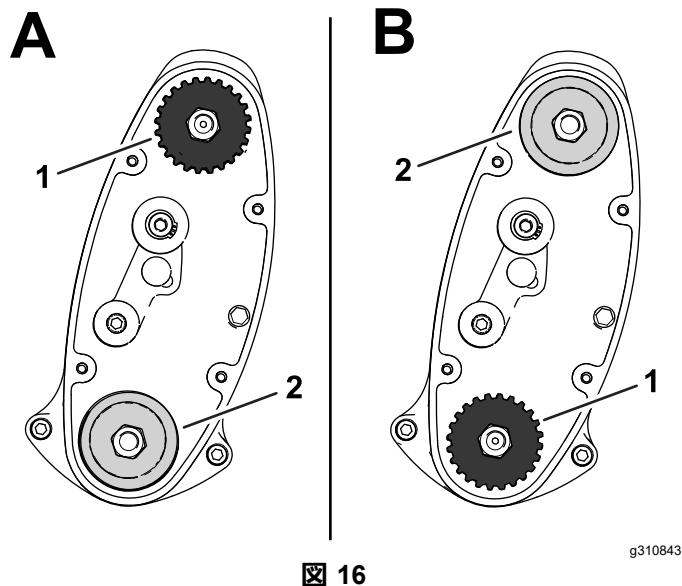


図 16

- | | |
|------------|------------|
| 1. プーリ24枚歯 | 2. プーリ22枚歯 |
|------------|------------|

プーリ位置の変更方法は以下の通りです

1. ベルトカバーを外してベルトを露出させる 図 17。

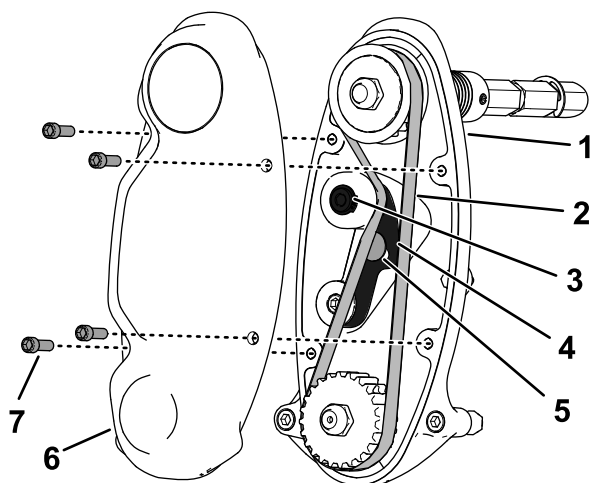


図 17

g310844

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1. リール駆動アセンブリハウジング | 5. アイドラームボルト |
| 2. ベルト | 6. ベルトカバー |
| 3. アイドラームの内側六角部 | 7. ソケットヘッドねじ部 |
| 4. アイドラーム | |

2. アイドラームボルトをゆるめてアイドラーム 図 17 を回してベルトの張りをなくす。
3. ベルトを取り外す 図 17。
4. それぞれのプーリのナットをゆるめてプーリを外し、希望する構成に組み替える。

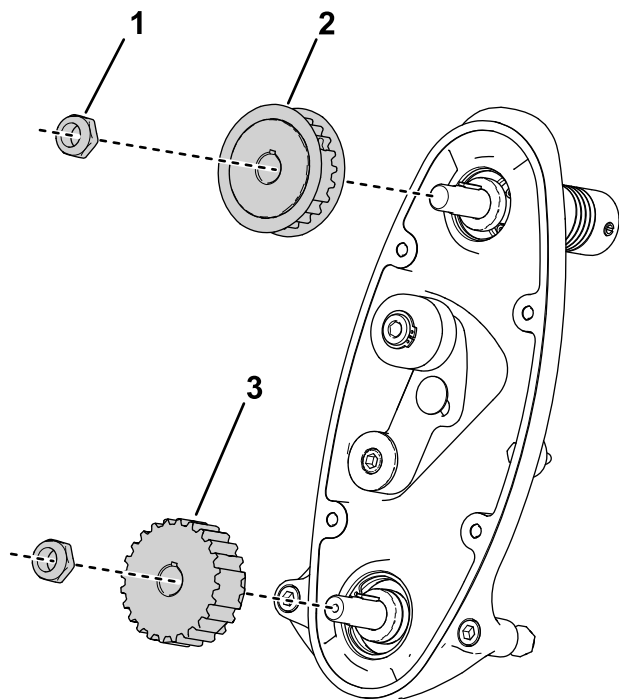


図 18

g310845

- | | |
|------------|------------|
| 1. ナット | 3. プーリ24枚歯 |
| 2. プーリ22枚歯 | |

5. プーリナットを 37-45 N·m 2.0-2.5 kg·m = 27-33 ft-lb にトルク締めする。
6. ベルトを取り付け、図 17 に示すアイドラームの内側六角部に 6-7 N·m 0.6-0.7 kg·m = 55-60 in-lb のトルクを掛ける。
7. アイドラームボルトを締め付け、ベルトカバーを取り付ける。

ベッドナイフの仕様

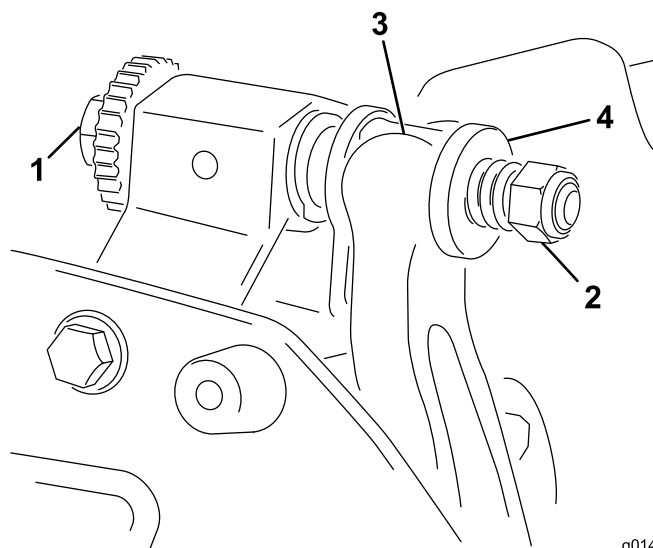
ベッドナイフの整備

ベッドバーとベッドナイフは非常に繊細な機器です。適切なトレーニングを受講した整備士以外の人は、これらの整備を行わないでください。できれば、カッティングユニットの整備はディストリビュータに依頼してください。ベッドナイフの整備に関わる詳しい解説、特殊工具、図面などについては、サービスマニュアルを参照してください。ご自身でベッドバーの文かきや組み付けを行う必要がある場合には、以下の説明およびベッドナイフの整備仕様を参考にしてください。

重要 ベッドナイフの整備は、必ず サービスマニュアルに記載されている説明に従って行ってください。ベッドナイフの研磨や取り付けが正しくないと、リール、ベッドバー、ベッドナイフ自身を損傷する可能性があります。

ベッドバーの取り外し/ベッドナイフアセンブリ

1. ベッドバー調整ねじを左に回して下刃とリールの接触を完全になくす 図 19。



g014641
g014641

図 19

- | | |
|------------------|----------|
| 1. ベッドバー調整ねじ | 3. ベッドバー |
| 2. スプリングテンションナット | 4. ワッシャ |

2. スプリングテンションナットをゆるめて、ワッシャがベッドバーを全く押さないようにする 図 19。
3. 機体の左右それぞれの側で、図 20 に示すロックナットをゆるめる。

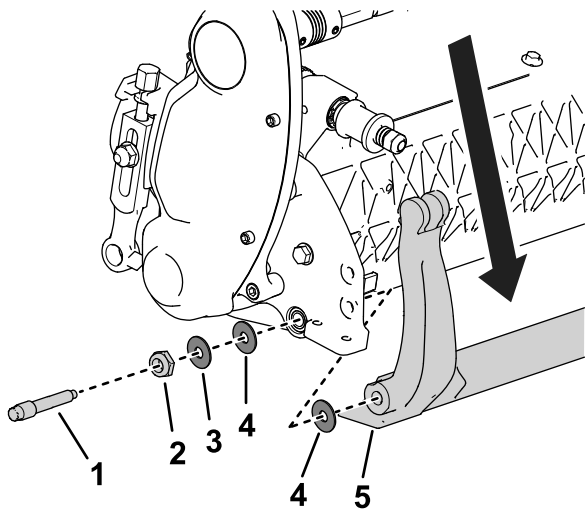


図 20

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. ベッドバーボルト | 4. ナイロン製ワッシャ |
| 2. ナット | 5. ベッドバー |
| 3. スチール製ワッシャ | |

4. 各ベッドバーボルトを抜いてベッドバーを下に引き抜いてカッティングユニットから外す 図 20。

ベッドバーの両端にそれぞれナイロンワッシャ2枚とスチールワッシャが1枚ずつあるので注意する 図 20。

5. ベッドナイフを固定しているネジをすべて外して、ベッドバーからベッドナイフを取り外す。ソケットレンチとベッドナイフ スクリュー ツール (部品番号 TOR510880) を使います。

注 ベッドナイフのネジを緩めるには、機械式または空気圧式のインパクトレンチを使うことができます。

注 ベッドナイフとネジを廃棄する。

新しいベッドナイフの取り付け

1. 刈り高さと下刃の選択表 (ページ 10) に従って新しいベッドナイフを選択する。
2. ベッドバーの表面についている錆や汚れをきれいに落とし、ベッドバーの表面に薄くオイルを塗る。

重要 ベッドバーから鋳造部品を取り外さないこと。ベッドバーは設計上中央が凹んだ形状になっているので、研磨しないこと。

3. ベッドバーのネジ山を清掃する。
4. 新しいベッドナイフのネジに固着防止剤を塗布し、ベッドナイフをベッドバーに取り付ける。

重要 新しいベッドナイフネジのみを使うこと。

注 ベッドバーによってネジの数が異なります。

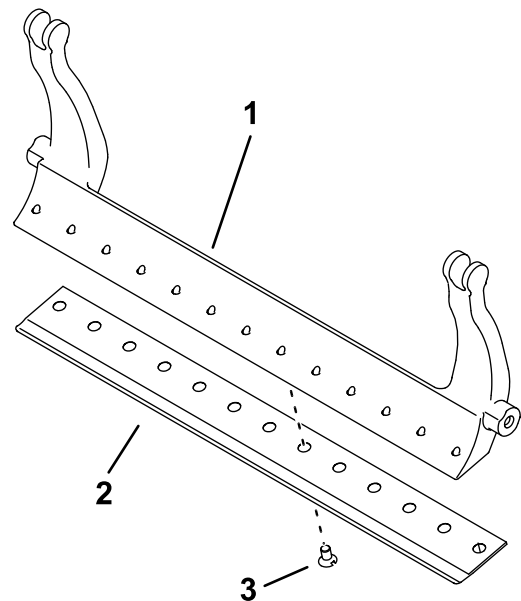


図 21

13本のネジが付いたベッドバー

- | | |
|-----------|-------|
| 1. ベッドバー | 3. ネジ |
| 2. ベッドナイフ | |

5. 外側の 2 本のねじを $1 \text{ N}\cdot\text{m}$ $1.15 \text{ kg}\cdot\text{m}$ $= 10 \text{ in}\cdot\text{lb}$ にトルク締めする。
6. ベッドナイフの中央から作業し、ネジを $25.9 \pm 1.4 \text{ N}\cdot\text{m}$ ($2.8 \pm \text{kg}\cdot\text{m}$) のトルクで締める。

重要 機械式または空気圧式のインパクトレンチを使ってベッドナイフのネジを締めないこと。

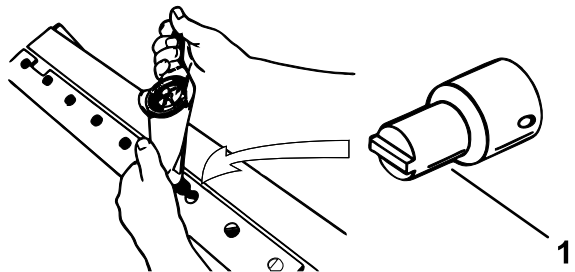


図 22

- | | |
|---|--|
| 1. ベッドナイフネジツール部
品番号 TOR510880 | 3. $25.9 \pm 1.4 \text{ N}\cdot\text{m}$
($2.8 \pm \text{kg}\cdot\text{m}$) のトルク
で締め付ける。 |
| 2. これらを最初に取り付けて
$1 \text{ N}\cdot\text{m}$ $1.15 \text{ kg}\cdot\text{m}$ $= 10 \text{ in}\cdot\text{lb}$ に
トルク締め | |

7. 新しいベッドナイフを研磨する。ベッドナイフの研磨の仕様 (ページ 15)を参照方。

ベッドナイフの研磨の仕様

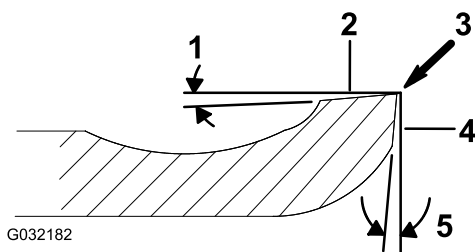


図 23

- | | |
|-----------|--------|
| 1. リーフ二番角 | 4. 前面 |
| 2. 上面 | 5. 前面角 |
| 3. バリを除去 | |

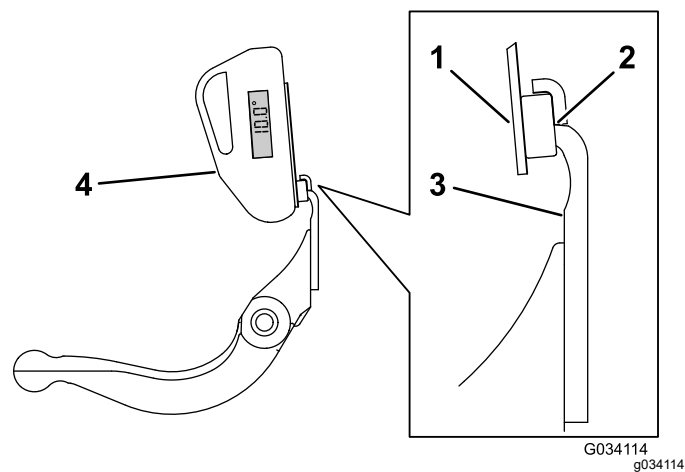


図 25

- | | |
|--------------------------------|-----------|
| 1. 傾斜計のマウント | 3. ベッドナイフ |
| 2. マグネットのエッジがベッドナイフのエッジに密着した状態 | 4. 傾斜計 |

ベッドナイフリーフ (上部) 角度	刈り高さと下刃の選択表 (ページ 10)を参照。
前面角度範囲	13° - 17°
フェアウェイベッドナイフのフロントアングル	10°

4. 図 25に示すように、マウントの上に傾斜計を置く。

注 この時の読みが、研磨機によって作られた角度であり、この角度が推奨値から 2 度以内であれば適正です。

上面角のチェック

ベッドナイフの上面の角度は非常に重要です。

傾斜計 P/N 131-6828 と傾斜計マウント P/N 131-6829 を使用して研磨機の設定角度を調べ、必要に応じて修正を行ってください。

1. 図 24に示すように、ベッドナイフの裏面に傾斜計を置く。

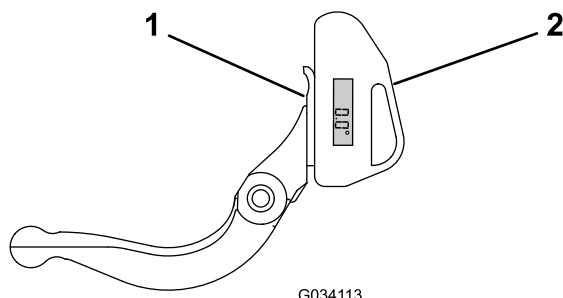


図 24

- | | |
|-------------|--------|
| 1. ベッドナイフ垂直 | 2. 傾斜計 |
|-------------|--------|

2. 傾斜計の Alt Zero ボタンを押す。
3. 傾斜計のマウントをベッドナイフのエッジに合わせ、マグネットのエッジとベッドナイフのエッジを密着させる 図 25。

注 ステップ 1 の時と同じ方向から傾斜計を読むようにしてください。

ベッドバー/ベッドナイフアセンブリの取り付け

1. ベッドバー/ベッドナイフアセンブリを取り付け、固定用耳をワッシャーとベッドバー調整ネジ (図 26) の間に配置する。

重要 図 26に示すように、DPA アジャスターをベッドバーの耳の中央に配置する。

DPA アジャスターがベッドバーの耳の中央以外に取り付けられている場合、下刃とリールの接触に悪影響を及ぼす可能性があります。

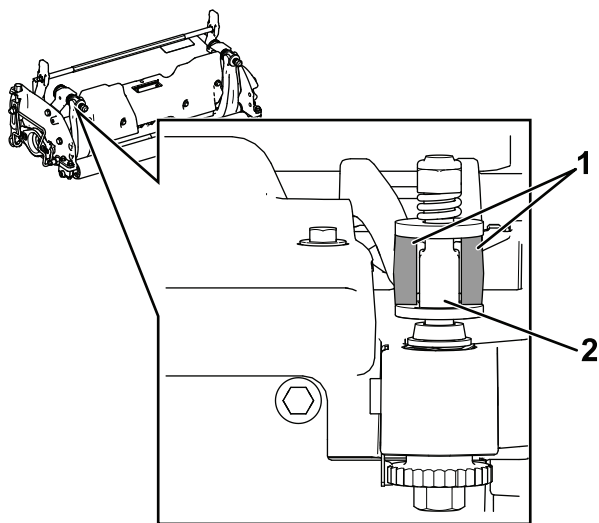


図 26

g512172

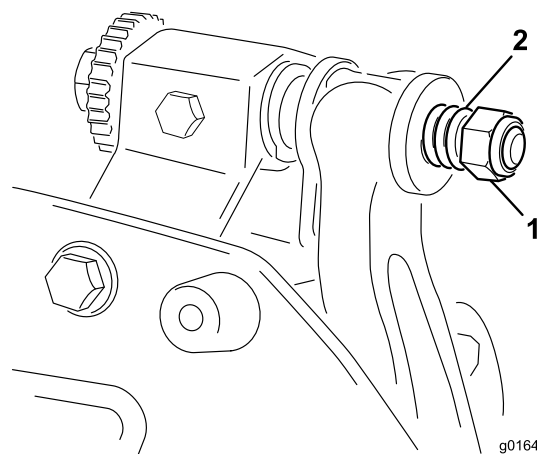
1. ベッドバーの耳
2. DPAアジャスター

2. ベッドバーボルトとボルトについているナットとワッシャ3枚全部で6枚で、ベッドバーを各サイドプレートに固定する。
3. サイドプレートのボスの両側にナイロンワッシャを入れる。その外側からスチール製ワッシャを取り付ける (図 20)。
4. 27-36 N・m (2.9-3.9kg・m) のトルクで締め付ける。
5. 外側のスチールワッシャが手でちょうど回転するくらいまで、ベッドバーロックナットをゆっくりと締める。

注 ベッドバーとサイドプレートの間のナイロンワッシャには小さな隙間があります。

重要 ロックナットを締め付けすぎるとサイドプレートを変形させる恐れがあるので注意する。

6. スプリングがつぶれるまでテンションナットを締め、そこから半回転戻す (図 27)。



g016470

g016470

図 27

1. スプリング・テンション・ナット
2. スプリング

7. リールと下刃の調整を行う [リールと下刃の調整を行う \(ページ 7\)](#)を参照。

リール仕様

リールを研磨するための準備

1. カuttingユニット各部に異常がないか点検し、不具合があれば修正する。
2. 研磨機メーカーの指示に従ってCuttingユニットリールを以下の仕様を満たすように研磨する。

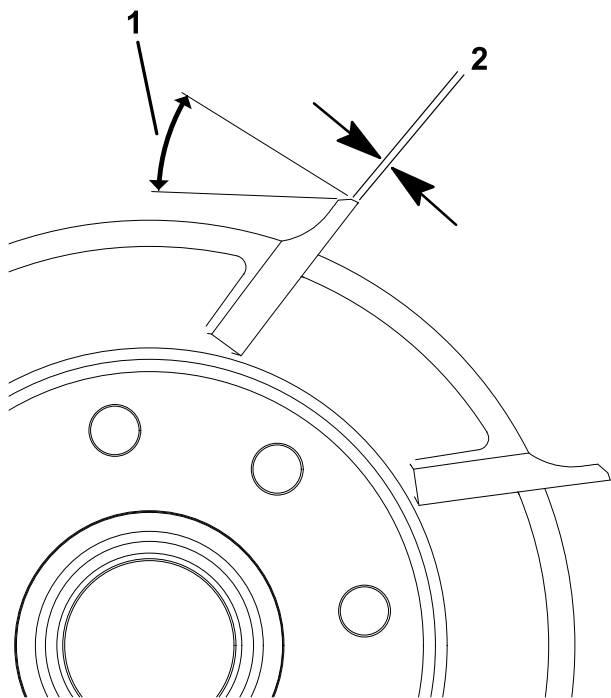
リール研磨の仕様	
新しいリールの場合の直径	128.5 mm
リールの使用限界	114.3 mm
ブレードのリリーフ角	30° ± 5°
ブレードのランド幅の範囲	0.81.2 mm
リールテーパの許容限界	0.25 mm

二番取り

新しいリールのランド幅は0.81.2 mm、リリーフグラインドは 30°です。

ランド部の幅が 3 mm を超えたら、以下を行ってください。

1. ランド幅が0.8 mmになるまで、すべてのリールブレードに30°のリリーフグラインドを適用する。



g278332

図 28

1. 30° 2. 0.8 mm

2. 回転研磨を行ってリールの真円度を 0.025 mm 以内にする。

注 これにより、ランド部の幅は若干大きくなります。

3. カッティングユニットの調整を行うカッティングユニットのオペレーターズマニュアルを参照。

注 リールやベッドナイフの鋭利な刃先を長持ちさせるには、リールやベッドナイフを新たに研磨して使い始めたときに、グリーンを 2 面刈り込むごとに刃合わせのチェックを行い、刃先にバリが出ていたら除去してください。バリは刃と刃の接触を大きくして摩耗を早めます。

カッティングユニットのバックラップ

カッティングユニットのバックラップを行うには、アクセスバックラップキットモデル番号 139-4342を使用します。キットの取り付け要領書を参照してください。キットは弊社代理店でお求めになれます。

メモ

メモ

組込宣言書

The Toro Company, 8111 Lyndale Ave. South, Bloomington, MN, USA は、以下に挙げるユニットが、以下に列挙する指令に適合していることをここに宣言しますただし、各ユニットに付属する説明書にしたがって、「適合宣誓書」に記述されている所定のトロ社製品に取り付けることを条件とします。

モデル番号	シリアル番号	製品の説明	請求書の内容	概要	指示
04854	410300000 以上	18" エッジシリーズ14枚刃カッティングユニットグリーンズマスター Flex 1018 芝刈り機用	14-BLADE 18IN FLEX ES CU	芝刈り機	2000/14/EC, 2005/88/EC, 2006/42/EC
04863	410285710 以上	21" エッジシリーズ11枚刃カッティングユニットグリーンズマスター Flex および eFlex 1021 芝刈り機用	11-BLADE 21IN FLEX ES CU	芝刈り機	2000/14/EC, 2005/88/EC, 2006/42/EC
04864	410300000 以上	21" エッジシリーズ14枚刃カッティングユニットグリーンズマスター Flex および eFlex 1021 芝刈り機用	14-BLADE 21IN FLEX ES CU	芝刈り機	2000/14/EC, 2005/88/EC, 2006/42/EC

2006/42/EC別紙VIIパートBの規定に従って関連技術文書が作成されています。

本製品は、半完成品状態の製品であり、国の規制当局の要求があった場合には、弊社より関連情報を送付いたします。ただし、送付方法は電子的通信手段によるものとします。

この製品は、製品に付随する「規格適合証明書」に記載されている承認済みのトロ社製品に取り付けることによって、関連する諸規制に適合するものであり、そのような状態でなければ使用することができません。

確認済み



Tom Langworthy
エンジニアリング担当取締役
8111 Lyndale Ave. South
Bloomington, MN 55420, USA
11月 19, 2024

権限を有する代表者

Marcel Dutrieux
Manager European Product Integrity
Toro Europe NV
Nijverheidsstraat 5
2260 Oevel
Belgium

UK Declaration of Incorporation

Toro社 (8111 Lyndale Ave. South, Bloomington, MN, USA所在) は、以下のユニットが、関連する適合宣言書に記載されている特定のToroモデルに付属の説明書に従って取り付けられた場合、記載されている規制に準拠していることを宣言します。

モデル番号	シリアル番号	製品の説明	請求書の内容	概要	指示
04854	410300000 以上	18" エッジシリーズ14枚刃カッティングユニットグリーンズマスター Flex 1018 芝刈り機用	14-BLADE 18IN FLEX ES CU	芝刈り機	S.I. 2001 No. 1701, S.I. 2008 No. 1597
04863	410285710 以上	21" エッジシリーズ11枚刃カッティングユニットグリーンズマスター Flex および eFlex 1021 芝刈り機用	11-BLADE 21IN FLEX ES CU	芝刈り機	S.I. 2001 No. 1701, S.I. 2008 No. 1597
04864	410300000 以上	21" エッジシリーズ14枚刃カッティングユニットグリーンズマスター Flex および eFlex 1021 芝刈り機用	14-BLADE 21IN FLEX ES CU	芝刈り機	S.I. 2001 No. 1701, S.I. 2008 No. 1597

S.I. 2008 No.1597のSchedule 10に基づいて、関連する技術文書が作成されています。

本製品は、半完成品状態の製品であり、国の規制当局の要求があった場合には、弊社より関連情報を送付いたします。ただし、送付方法は電子的通信手段によるものとします。

この機械は、関連する適合宣言書に記載されているように、承認されたToroモデルにすべての指示に従って組み込まれるまで使用することはできません。その場合、すべての関連規制に準拠していることが宣言されます。

This declaration has been issued under the sole responsibility of the manufacturer.
The object of the declaration is in conformity with relevant UK legislation.

権限を有する代表者

Marcel Dutrieux
Manager European Product Integrity
Toro U.K. Limited
Spellbrook Lane West
Bishop's Stortford
CM23 4BU
United Kingdom



Tom Langworthy
エンジニアリング担当取締役
8111 Lyndale Ave. South
Bloomington, MN 55420, USA
11月 19, 2024

EEA/UK におけるプライバシーに関するお知らせ

Toro によるお客様の個人情報の利用について

The Toro Company ("Toro") は、お客様のプライバシーを尊重します。弊社の製品をお買い上げ頂いた際、弊社ではお客様に関する情報を、お客様から直接、あるいは弊社の支社や代理店を通じて入手いたします。入手した情報は、お客様との契約を履行するために使用されます。具体的には、お客様のための製品保証登録、保証請求の処理、万一製品をリコールする場合のご連絡、さらには弊社の事業を進めるため、たとえばお客様満足度を調査したり、製品の改良、またお客様にとって役に立ちそうな製品のご紹介などに使用します。また、トロが上記の業務を遂行するために必要となる活動のために、弊社の子会社、提携会社、代理店などのビジネスパートナーに情報を開示する場合があります。また、法律に基づく要請があった場合や、事業の売却、買収、合併などが発生した場合にはお客様の情報を開示する場合があります。ただし、マーケティングのためにお客様の個人情報を他社に売ることは絶対にいたしません。

個人情報の保存

Toro では、上記の目的にとって必要な期間にわたり関連法律に従ってお客様の個人情報を保持いたします。具体的な保持期間についての詳細をお知りになりたい方は以下にご連絡ください legal@toro.com。

セキュリティについての Toro のお約束

あなたの個人情報についての情報処理作業は、米国またはあなたが居住される国のデータ保護関連規制よりも規制がゆるやかな第三国で行われる場合があります。あなたが居住する国の外にあなたの個人情報を移動させる場合、弊社は法に則った手続きでそれを行い、あなたに関わる個人情報が適切に保護され、また適切に取り扱われるように細心の注意を払います。

アクセスと訂正

お客様には、ご自身の個人情報を閲覧・訂正する権利があり、また、ご自身に関するデータの処理に対して異議申し立てないしは禁止を申し立てる権利があります。このような権利行使をなさりたい場合には legal@toro.com にメールでご連絡ください。弊社によるあなたの個人情報の取り扱い方法に関して懸念をお持ちの場合は、ご自身で直接弊社にお尋ねくださるようお願いいたします。なお、ヨーロッパにお住まいの皆様は、Data Protection Authority に対して異議申し立てを行うことができます。



Toro 製品保証

2 年間または 1,500 時間限定保証

保証条件および保証製品

Toro 社は、Toro 社の製品以下「製品」と呼びますの材質上または製造上の欠陥に対して、2 年間または 1,500 運転時間のうちいずれか早く到達した時点までの品質保証を共同で実施いたします。この保証はエアレータを除くすべての製品に適用されますエアレータに関する保証については該当製品の保証書をご覧ください。この品質保証の対象となった場合には、弊社は無料で「製品」の修理を行います。この無償修理には、診断、作業工賃、部品代、運賃が含まれます。保証は「製品」が納品された時点から有効となります。
*アワーメータを装備している機器に対して適用します。

保証請求の手続き

保証修理が必要だと思われる場合には、「製品」を納入した弊社代理店、ディストリビュータ又はディーラー に対して、お客様から連絡をして頂くことが必要です。連絡先がわからなかったり、保証内容や条件について疑問がある場合には、本社に直接お問い合わせください。

Toro Commercial Products Service Department
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420-1196

952-888-8801 or 800-952-2740
E-mail: commercial.warranty@toro.com

オーナーの責任

製品のオーナーは、オペレーターズマニュアルに記載された整備や調整を実行する責任があります。必要な整備や調整を怠ったことが原因で発生した不具合などの問題点はこの製品保証の対象とはなりません。

保証の対象とならない場合

保証期間内であっても、すべての故障や不具合が保証の対象となるわけではありません。以下に挙げるものは、この保証の対象とはなりません

- Toro の純正交換部品以外の部品を使用したことまたはToroの純正部品以外のアクセサリや製品を搭載して使用したことが原因で発生した故障や不具合。
- 推奨された整備や調整を行わなかったことが原因で生じた故障や不具合。
- 運転上の過失、無謀運転など「製品」を著しく過酷な条件で使用したことが原因で生じた故障や不具合。
- 製品を使用したことによって消耗した正常なパーツ通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類とは、ブレーキパッドおよびライニング、クラッチライニング、ブレード、リール、ローラおよびベアリングシールドタイプ、グリス注入タイプ共、ベッドナイフ、タイン、点火プラグ、キャストホイール、ベアリング、タイヤ、フィルタ、ベルトなどを言い、その他、液剤散布用の部品としてダイヤフラム、ノズル、フローメータ、チェックバルブが含まれます。
- 以下のような外部要因が原因で発生する不具合天候、格納保管条件、異物、不適切な燃料、冷却液、潤滑剤、添加物、水、薬品などの使用。
- 適正な燃料ガソリン、軽油、バイオディーゼルなどを使用しなかったり、品質基準から外れた燃料を使用したために発生した不具合。
- 通常の使用に伴う運転音や振動、汚れや傷、劣化。通常の使用に伴う「汚れや傷」とは、運転席のシート、機体の塗装、ステッカー類、窓などに発生する汚れや傷を含みます。

米国とカナダ以外のお客様へ

米国またはカナダから輸出された製品の保証についてのお問い合わせは、お買いあげのToro社販売代理店ディストリビュータまたはディーラーへおたずねください。代理店の保証内容にご満足いただけない場合は弊社の正規サービスセンターにご相談ください。

部品

定期整備に必要な部品類「部品」は、その部品の交換時期が到来するまで保証されます。この保証によって取り付けられた部品は、この製品保証により保証期間終了まで保証され、取り外された部品は弊社の所有となります。部品やアセンブリを交換するか修理するかの判断は弊社が行います。弊社が保証修理のために再製造した部品を使用する場合があります。

ディープサイクルバッテリーおよびリチウムイオンバッテリーの保証

ディープサイクルバッテリーやリチウムイオンバッテリーは、その寿命中に放出することのできるエネルギーの総量kWhが決まっています。一方、バッテリーそのものの寿命は、使用方法、充電方法、保守方法により大きく変わります。バッテリーを使用するにつれて、完全充電してから次に完全充電が必要になるまでの使用可能時間は徐々に短くなってゆきます。このような通常の損耗を原因とするバッテリーの交換は、オーナーの責任範囲です。注リチウムイオンバッテリーバッテリーの保証内容をご確認ください。

クランクシャフトのライフタイム保証プロストライプ 02657 モデルのみ

トロ社の純正摩擦ディスクおよびクランク安全ブレードブレーキクラッチ統合ブレードブレーキクラッチBBC摩擦ディスクアセンブリを当初から搭載し、当初の購入者様がトロ社の推奨する運転方法および定期整備を遵守してご使用されたプロストライプ製品には、クランクシャフトの曲がり不具合に対するライフタイム保証が適用されます。摩擦ワッシャ、ブレードブレーキクラッチBBCその他のデバイスを搭載した製品には、このクランクシャフトのライフタイム保証は適用されません。

保守整備に掛かる費用はオーナーが負担するものとします

エンジンのチューンナップ、潤滑、洗浄、磨き上げ、フィルタや冷却液の交換、推奨定期整備の実施などは「製品」の維持に必要な作業であり、これらに関わる費用はオーナーが負担します。

その他

上記によって弊社代理店が行う無償修理が本保証のすべてとなります。

Toro 社は、本製品の使用に伴って発生しうる間接的偶発的結果的損害、例えば代替機材に要した費用、故障中の修理関連費用や装置不使用に伴う損失などについて何らの責も負うものではありません。当社の保証責任は上記の交換または修理に限らせていただきます。その他については、排気ガス関係の保証を除き、何らの明示的な保証もお約束するものではありません。商品性や用途適性についての黙示的内容についての保証も、本保証の有効期間中のみに限って適用されます。

米国内では、間接的偶発的損害に対する免責を認めていない州があります。また黙示的な保証内容に対する有効期限の設定を認めていない州があります。従って、上記の内容が当てはまらない場合があります。この保証により、お客様は一定の法的権利を付与されますが、国または地域によっては、お客様に上記以外の法的権利が存在する場合があります。

排ガス保証についてのご注意

米国においては環境保護局EPAやカリフォルニア州法CARBで定められたエンジンの排ガス規制および排ガス規制保証があり、これらは本保証とは別個に適用されます。くわしくはエンジンメーカーのマニュアルをご参照ください。上に規定した期限は、排ガス浄化システムの保証には適用されません。製品に同梱またはエンジンメーカーからの書類に同梱されている、エンジンの排ガス浄化システムの保証についての説明をご覧ください。



Count on it.